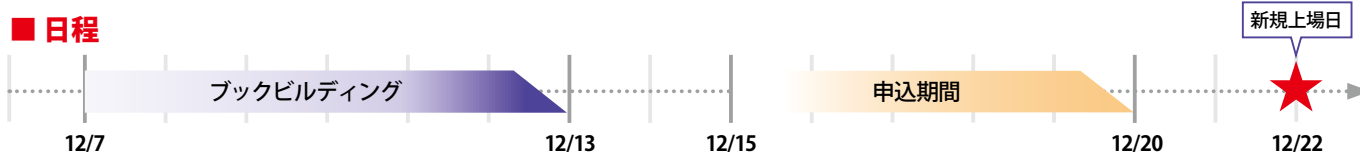


IPO銘柄 エイトレッド (3969・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3969	100 株	公募: 20.00 万株 売出: 40.00 万株 (OA9.00 万株)	1,700 円~ 1,800 円 (18.5 倍)	大和証券



「まるで紙に書くような」ワークフローの基本機能を提供

■ 事業内容

パッケージソフトとして「X-point」、「AgileWorks」を販売する。クラウドサービスとして「X-point Cloud」も手掛ける。「X-point」は利用者が「まるで紙に書くような」直感的な入力フォームを提供する。稟議、申請から承認、決裁までのワークフローの基本機能を提供するほか、導入企業の社内制度、規則などに応じた承認フローの柔軟な設定が可能となっている。「AgileWorks」は「X-point」の機能を踏襲しつつ、より大規模な組織での運用を前提として開発した製品。組織改編や人事異動などへの対応強化、多言語対応、アドオン型のシステム連携などに特徴を持つ。ワークフロー事業の単一セグメント。

■ 特徴

筆頭株主は東証1部上場でEコマースサイト構築エンジンのソフトクリエイイトホールディングス(3371)。2位株主のSCSK(9719)とも含めて関係は密接で、販売面などで協力する。ソフトクリH、SCSKとも、エイトレッドの上場に際して株式の売り出しに応じる予定。

アナリストコメント

■ 定量分析

17年3月期の非連結経常利益は前期比10.3%増の3億円を計画する。収益はパッケージ販売によるフロー売上と継続利用に伴うソフト保守などストック売上が半々程度。クラウドサービスのシェア向上に力を入れており、中期的な収益体質強化が期待される。

■ 定性分析

業務用ソフト、クラウドシステム提供は類似する上場企業こそ多いものの、IPOマーケットでは特に不人気セクターというわけでもない。敬遠材料と認識されない可能性はあるが、ソフトクリHの子会社であることから、いわゆる親子上場案件ではある。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約12億円。発行済株式のほとんどをソフトクリHとSCSK経営陣で保有しており、ベンチャーキャピタル保有株もない。市場からの吸収金額には軽量感はないが、公開株式以外の株券は市場に流出しづらい構造となっている。

(小泉健太)

■ 類似企業

エイトレッド(3969・マザーズ)	予想PER18.5倍 (仮条件上限)
ソフトクリエイイトホールディングス(3371・東証1部)	予想PER17.7倍
アドソル日進(3837・東証1部)	予想PER28.8倍

■ 引受証券

大和証券、いちよし証券、SMBC日興証券、藍澤証券、東洋証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年3月期(実績)	716	▲ 1.1	224	9.8	141	9.6	70.8	40.5
16年3月期(実績)	845	17.9	271	21.0	174	23.4	87.4	43.5
17年3月期(会社予想)	950	12.4	300	10.3	195	11.5	97.5	29.3

※ 16年10月に株式分割(1株→200株)を実施。15年3月期、16年3月期のEPSおよび配当は遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年3月期	10,000	1,075	761	100	381.0	70.9	19.6
16年3月期	10,000	1,263	855	100	427.9	67.7	21.6

※ 15年3月期、および16年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	ソフトクリエイティブホールディングス	1,600,000	76.27
2	SCSK	400,000	19.07
3	稲瀬 敬一	5,800	0.28
4	佐藤 淳	4,600	0.22
4	丸山 嘉伸	4,600	0.22
4	青木 健一	4,600	0.22
4	千林 正太郎	4,600	0.22
4	平田 圭	4,600	0.22
9	鈴木 大智	4,200	0.20
9	角川 雄一	4,200	0.20

経営陣

役職	氏名
取締役会長	林 宗治
代表取締役社長	稲瀬 敬一
取締役 CFO管理部長	佐藤 淳
取締役 開発部長	丸山 嘉伸
取締役	薄上 二郎
常勤監査役	田中 統
監査役	小澤 幹人
監査役	湯浅 奉之

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。